

平成 19 年 5 月 7 日
電源開発株式会社

多目的石炭ガス製造技術開発（EAGLE）が 1,000 時間連続運転に成功

～国内の石炭ガス化発電システムとしては最長記録～

5 月 2 日（水）、J パワー（電源開発株式会社 社長：中垣^{なかがき}喜彦^{よしひこ}）が新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と共同研究事業として進める『多目的石炭ガス製造技術開発』のパイロットプラントにおいて 1,000 時間を超える 1,015 時間の連続運転試験に成功しました。これは国内の石炭ガス化発電システムとしては最長記録となります。

J パワーの若松研究所（北九州市）では、平成 14 年 3 月から『多目的石炭ガス製造技術開発』（EAGLE プロジェクト：Coal Energy Application for Gas, Liquid & Electricity）のパイロットプラントを運転し、各構成機器の基本特性、環境特性、効率特性などを把握して、実プラントを設計するためのデータなどを取得してきました。

EAGLE では、平成 19 年度の長期連続試験運転として、3 月 21 日（水）より連続運転を続けてきましたが、5 月 2 日（水）に目標である 1,000 時間を達成し、1,015 時間で停止させました。

本運転試験は石炭ガス化炉および周辺設備の信頼性確認と運転ノウハウの蓄積を図るものです。



運転停止後の点検の結果、設備の不具合は確認されず、試験は成功を収めました。これまで国内の国産石炭ガス化発電システムの連続運転記録も EAGLE による 852 時間が最長でしたが、今回の 1,015 時間はこれを大きく上回り EAGLE の高い信頼性を確認しました。これにより酸素吹き石炭ガス化発電システムは、次のステップである実証機に向けて大きく前進することとなりました。

なお、EAGLE では今後 3 年間をかけて、石炭ガス化からの CO₂ 分離回収、炭種拡大、微量物質挙動調査を行っていく計画です。

<添付資料>

EAGLE パイロット試験設備と長期連続運転試験について